

問 10 本調査に対するご意見等がございましたら、自由にご記入ください。	
141	当院は急性期病院である為、元々外来件数は少なく、入院リハを中心に行っているが、疾患別リハ別になってから、複合した疾病に対して加療されている患者様の主治医から何に対してリハ処方すればとの問いが多くなっています。今回算定制限に関する調査であります。疾患別の枠組みのみなおしについても大きな問題となっております。
142	・リハビリテーションが必要かどうかの判断がわかりにくい。 ・のべ人数なのかどうかわかりにくい。
143	・4月改定の通知が遅く、準備期間とれず現場や患者さんに大きな混乱を招いた、いまだに不明瞭な点が多く混乱が多い。 ・医師への通達も充分になく診断名がついてもどのリハ料に該当するのか分からないケースが多々あった。
144	当院では、問6～問8までのような詳細なデータは、とっておりませんので、わかる範囲での記載となっております。
145	当院に対しては運動器リハビリテーションの実施状況の調査という事でありましたが、対象者が5名しかおらず、無作為に選出ができない為、本調査に協力する事ができません。悪しからず御了承下さいませお願いいたします。尚問6～8に関し、当院医●に於いては単位数の管理となっております。人数での割り出しが困難でありますので、この点につきましても御了承下さいませお願いいたします。
146	・リハビリ料を選定している1日平均患者数は、手持ちの数字から算出できないため、その月の15日（土・日・祝では翌診療日）の定点での1日患者数をだしました。 ・問9では大幅減少しましたが、改定の影響よりも、季節的な変動によるものと考えられます。夏～秋に大幅減、冬には少しづつもちなおしています。
147	上記問8の今後継続して「リハビリテーション等」が必要であるが、実施していない患者の中には、患者側が必要としているが、医学上必要としないケースもあり、医学上の必要性の定義を患者側と共有する必要性を感じます。
148	算定終了実施者数はその月にリハビリテーションに来なくなった患者も含まれます。継続中の患者はリハビリテーションが必要です。
149	今回運動器のリハビリ患者は、いません。
150	委介護状態でない患者には、リハビリテーションを行なう場が想定されていないのではないか。介護状態またはPT介護予防状態の患者に介護には指導できない。以上の印象を強く患者さん側が感じておられる。
151	アンケート記載欄が多すぎると感じました。業務外にしなければならないので何を意図としているのか、明確にして頂いて効率良くアンケートで作製して頂けると有難いです。また、期間限定で、必要な人やリハビリを打ち切られている現状を何とかしてほしいと思います。再発作で再入院するケースも激増しています。おそらく医療量は以前より増えてしまっているのではないのでしょうか。
152	算定終了患者数は、かなり困難です。
153	状態の維持のためにリハビリテーションの維持が必要である。患者様もその要望が多い。
154	後期高齢が多数を占める療養病棟では若年者などの「治る」ことを前提・目的としたリハビリではなく、ADL及び生活意欲の向上を目的としたリハビリが必要欠くべからざるものです。これではA